

2023
10
月号

県民の森 だより

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料 : 無料
利用時間 : 4月~10月 / 9時~16時30分
11月~3月 / 9時~16時



HPはこちら!

牧野富太郎がモデルの朝ドラ「らんまん」は9月で幕を閉じました。ドラマの影響で植物図鑑を手に取ってみた方も多いことと思います。植物観察に限らず自然観察に欠かせないのが図鑑です。

県民の森中央記念館では、数も内容も充実しているとは言えませんが生き物や植物の図鑑を用意しております。閲覧できますので園内を散策中に見つけた動植物を調べたいときは気軽にお声かけください。

(所長: 森山稔也)

虹の子ども園作品展 10/3~30

虹の子ども園の作品展が今年はいつもより1ヶ月早く10月に中央記念館小ホールにて開催されます。かわいらしい作品の数々に子どもたちの笑顔が浮かびます。楽しみです！



スケッチ県民の森~NO.11~

ツリリフネソウ

秋になると、めっきり花の数が少なくなりますが、その中で園内の沢沿いにツリリフネソウがあちこちに見られるようになりました。

ツリリフネソウは花被（かひ）の形が筒状で、船を釣り下げるよう見えることから名前がつきました。



あち工事!



各種工事があちらこ
ちらに入りご迷惑をお
かけしております。

湿地帯の工事は9月
にて終了いたしました。青少年の
森の水道工事も園内の工事は9月
にて終了、10月からは園外の道
路側の工事が始まります。送電線
の撤去に伴う伐採作業、アスレチック
の補修工事も入る予定です。

重機なども通りますので、
ご注意の上、係員の指示に従っ
てください。



柵ができたとはいえ、柵の外
では、まだまだイノシシが多く
被害が発生しています。

今年は音沙汰のなか
ったクマも先日、目撃
されました。



散策時はお気をつけください

暑すぎて今年は活動が鈍
かったスズメバチも
これから活発になる
かもしれません。



ニホンジカの目撃情報も
あり！？何かをみかけたら管理
事務所までご連絡ください！

255-8801

花の後ろはクルクルと巻き込んで力
タツムリのようです。ここに蜜をため
ているため、ポリネーター（受粉者）
はマルハナバチやホウジャクなどの長
い口吻をもつ虫に限られており、受粉
を確実にするため受粉者も花もお互い
に進化させた形になりました。

同じ時期に黄色の花をつけるキツリ
フネも咲きますが、こちらは個体数が
ずっと少なく、後ろの距（きょ）は丸
まっています。また、葉の下につり
下がっています。

実がつくとちょっと触れるだけで熟
した果実がパチンと一気にはじけ周辺
に飛び広がります。形も種の散布方法
も不思議な植物です。（千葉）

今月のスタッフが見つけたしせんのひとコマ
けんみんのもり写真館



**ヤママユ 山繭蛾
(チョウ目ヤママユガ科)**

冬になると葉の落ちた木々の間や道端にこんなものをみつけたことはありませんか？ヤママユが羽化した後の繭殻です。

卵で越冬。幼虫はブナ科の植物の葉を食べてすくすくと大きく育ち、きれいな緑色の繭を作ります。この繭からとれる天蚕（てんさん）糸は高級シルクの原料です。

成体も全翅長（前翅の長さ）70～85mmとインパクトのある大きさ。翅は肉厚で、まん丸の目玉模様も一度見たら忘れられません。

成虫には口がなく、幼虫時に貯えた栄養があるうちに子孫を残します。オスは写真のような触角で

メスのフェロモンを探知します。メスの触角はシンプルです。
(田沢)



実は、こここのホールはフリースペースだって知っていましたか！？

遠足の雨天時の昼食用に、グループでの休憩や昼食に、時々は中央記念館主催のクラフト活動にも使用されます。



広いスペースです。ぜひ、ご活用ください。詳細はお気軽に事務室までお問い合わせください。空いていれば当日でも使えます。ただし、他のグループと一緒になる場合もあります。

**ミサゴ
(ミサコ科ミサゴ属)
鶲・別名：魚鷹**



魚が主食のタカ、白いお腹に焦茶模様の長い翼を広げて勇壮に飛んでいます。

白い頭に目から首の後ろまでの黒い線が特徴。

静かな水面を空から狙い急降下で脚から飛び込み、魚を捕まえます。爪は長い鉤爪状、足裏にはトゲもあり魚をがっちりとつかんで落としません。時々、魚をつかんだまま飛んでいる姿やお気に入りの高枝で魚を食べる様子も見かけます。

英名はオスプレイ、ホバリングも急降下も出来るので軍用機にも名付けられました。

いかつい印象ですが、鳴き声は「ピヨッピヨッ♪」と可愛らしいんです。
(絵：秀・文：もち)

**ガマズミ 英漿
(ガマズミ科ガマズミ属)**



名前の由来は諸説あります。漢名の「英漿」の音読み「キョウメイ」が「カメ」に転じ、さらにズミ（酸味）と結びついてカメズミからガマズミに変化したのではといわれています。

果実は甘酸っぱく、果実酒に用いられます。材は粘りがあり折れにくいため、ハンマー、鎌、鍬などの柄に利用されます。

花期 5～6月 (駒野)



◆ 中央記念館◆コーナー vol.7 ~2階ホール~

中央記念館の正面階段を登ると1階小ホールです。そこから2階へと階段を登ると剥製のクマの熊太郎がお出迎え、そして広いホールがあります。



9月中、1階小ホールにて開催しておりました『モリノイキモノ展』は10月からは2階ホールへ移動します。